平成28年度神奈川県公営企業会計

決算説明資料

~グラフで見る決算~

神奈川県企業庁

目 次

I 平成28年度における主な取組の内容 1 水道事業 2 電気事業 3 公営企業資金等運用事業	1 2 - 16 - 23
Ⅱ 平成28年度公営企業会計決算額総括表 ————————————————————————————————————	26
Ⅲ 各事業会計の決算の状況 水道事業会計 電気事業会計 公営企業資金等運用事業会計 相模川総合開発共同事業会計・酒匂川総合開発事業会計 	27 27 43 59 70
(参考) 平成28年度に実施した主な事業 ―――――	72

I 平成28年度における主な取組の内容

「神奈川県企業庁経営方針」、「神奈川県営水道事業経営計画」及び「神奈川県営電気事業経営計画」に基づき、水道施設の耐震化・老朽化対策の推進、再生可能エネルギーの導入などの主要事業を着実に進め、水道や電力の安定供給に努めました。

神奈川県企業庁 経営方針

神奈川県営水道事業 経営計画

神奈川県営電気事業 経営計画

1 水道事業 <主要施策体系図>

1 より安全で良質な水づくり (1) 貯水槽水道適正管理推進事業 (2) 鉛管対策事業 (3) 谷ケ原浄水場薬品注入施設更新事業 火山災害対策事業(再掲) 2 災害や事故に備えた強靭な水道づくり (1) 水道施設耐震化事業 老朽配水管リフレッシュ事業(再掲) 水道施設の 耐震化関連 大口径老朽管リフレッシュ事業(再掲) 事業 配水管網再構築事業(再掲) (2) 応急給水体制整備促進事業 (3) 配水運用設備整備事業 (4)火山災害対策事業 (5) 加圧ポンプ所停電対策事業 3 お客さまから信頼される事業運営 (1) 県営水道お客さまコールセンター運営業務委託事業 (2)「水のおいしい学校づくり」の推進 (3) お客さま意識調査事業 (4) 水道スマートメーターの共同研究の実施

4 安定した水の供給体制の確保 (1) 水道施設整備事業 (2) 寒川浄水場排水処理施設管理事業 (3) 老朽配水管リフレッシュ事業 (4) 大口径老朽管リフレッシュ事業 (5) 配水管網再構築事業 (6) 配水池等統廃合事業 (7) 谷ケ原浄水場排水処理施設更新事業 (8) 漏水対策強化事業 (9) 谷ケ原浄水場遠方監視制御設備整備事業 5 地域社会や国際社会への貢献 (1) 海外の水道技術への協力

(2) 箱根地区水道事業包括委託の推進

(3) 福祉作業所への水道メーター分解作業業務委託事業

(1) より安全で良質な水づくり

く谷ケ原浄水場薬品注入施設更新事業>

近年の水質基準の強化に伴う最適な薬品貯蔵量の確保や、高機能な浄水薬品の導入、火山灰等への対応などを踏まえた薬品注入施設の更新に向けた基本設計を実施した。

- 〇平成28年度 事業費 7,897千円
- 〇概要図(主要薬品貯蔵槽位置)

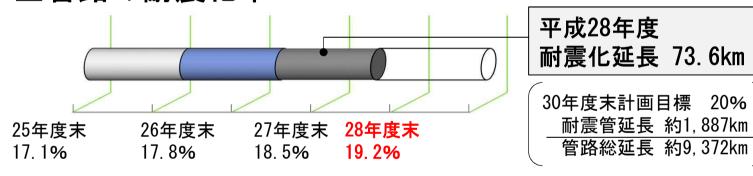


(2) 災害や事故に備えた強靭な水道づくり

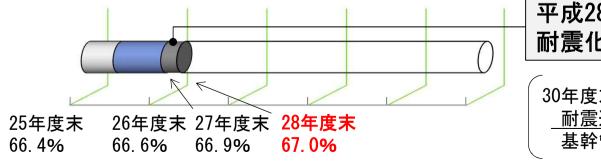
<水道施設耐震化事業>

災害時に重要となる、災害拠点病院などの重要給水施設への供給管路や基幹管路に耐震継手管を採用するなど、水道施設の耐震化に取り組んだ。

•全管路の耐震化率

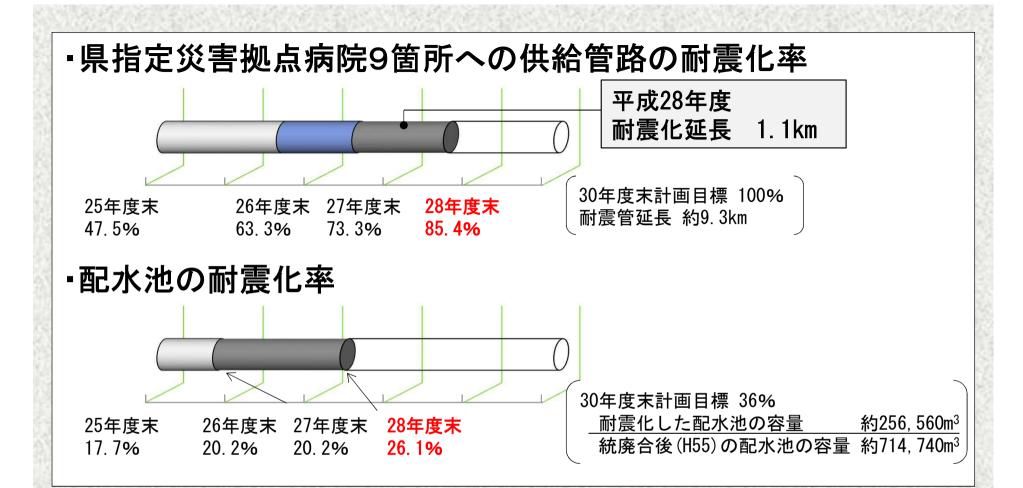


・基幹管路の耐震適合率



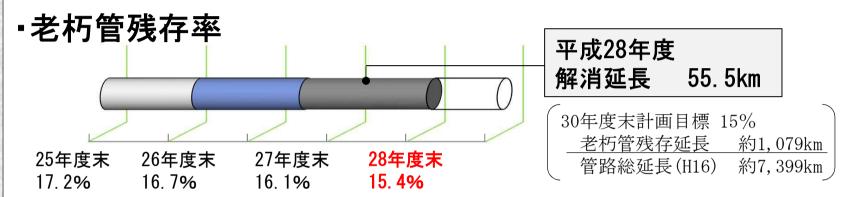
平成28年度 耐震化延長 4.8km

30年度末計画目標 69% 耐震適合管延長 約477km 基幹管路延長(H24) 約692km



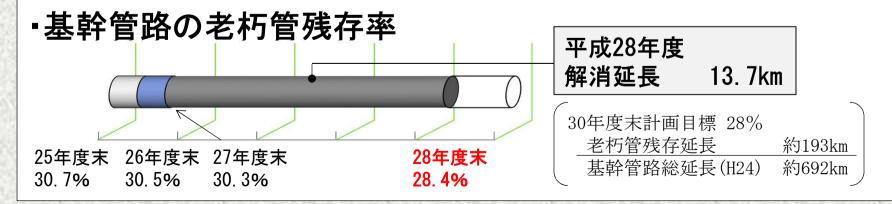
く老朽配水管リフレッシュ事業>

老朽化している水道管を耐震性の高い鋳鉄管に取替え、安 定給水の確保を図った。



く大口径老朽管リフレッシュ事業>

強度的に弱い昭和46年以前に布設した大口径管路の更新を行い、水道水の安定供給の確保を図った。



写真① 大口径老朽管リフレッシュ事業



<パイプインパイプ工法>

パイプインパイプ工法は、既設管をさや管とし、その中に新管を挿入する、道路 掘削が困難な場合などに用いられる工法である。

(3) お客さまから信頼される事業運営

くお客さま意識調査事業>

お客さまの水使用の動向や意識、ご意見やご要望を把握して、今後の事業運営の基礎資料として活用するために、個人と事業所等のお客さまを対象に調査を実施した。

〇平成28年度 事業費 7,736千円

〇調查対象 期間等

	お客さま意識調査(個人)	事業所調査
調査対象	満20歳以上の男女5,000人	年間使用水量又は下水道排水量が 10,000㎡以上の850事業所
調査期間	平成28年1	1月1日~11月15日
有効回収数	2,975 (59.5%)	640 (75.3%)

〇主な調査結果

・水道管の老朽化による更新の必要性の認知度

回答	個人	事業所
水道管の老朽化が進み、新しい水道管に交換していかなけ ればならないことを知っている。	82.0%	87. 4%
老朽化した水道管の今後の更新希望	86. 4%	91.1%

・県営水道が今後力を入れるべき事業

回答	個人	事業所
地震やその他の災害時でも、断水などがないように対策をす る。	70. 5%	83. 4%
渇水時にも給水制限などがない安定した給水を行う。	50.9%	70.0%

〇今後の予定

お客さまの水使用の動向や意識、ご意見やご要望を把握して、今後の事業運営の基礎資料として活用する。

<水道スマートメーターの共同研究の実施>

検針業務の自動化や使用水量の「見える化」などが可能となる水道メーターのスマート化について、箱根地区において民間事業者とともに共同研究を平成29年1月から開始した。

- 〇平成28年度 事業費 1,474千円(スマートメーター設置工事)
- 〇共同研究の内容

水道スマートメーターによる計量を 行い、通信環境が困難と思われる 山間部エリアでの通信安定性の確認 及び、漏水発見への活用等について 研究する。



〇研究主体と主な役割分担

- ・神奈川県企業庁 スマートメーターの設置工事、無線基地局設置場所の提供等
- ・JFEエンジニアリング(株) スマートメーターから得られるデータの分析や全体調整
- ・箱根水道パートナーズ(株) お客様からの問い合わせに対する窓口

〇スケジュール





(4) 安定した水の供給体制の確保

<漏水対策強化事業>

〇事業目的

近年の漏水率の上昇傾向を踏まえ、地下漏水をより早期に発見するために、音聴式漏水調査のサイクルを短縮するとともに、相関式漏水探知器を用いた河川の伏越部等への調査を試行するなど、漏水対策の強化を図った。

〇平成28年度事業費 122,796千円

〇事業内容

•漏水調査サイクルの短縮

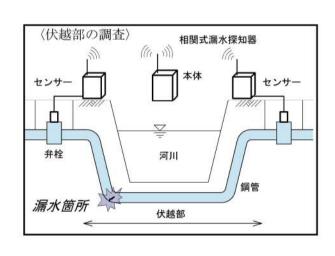
給水区域全域で実施している音聴式漏水調査について、地下漏水をより早期に発見するため、従来の4年で1巡していた調査サイクルを2年に短縮した。

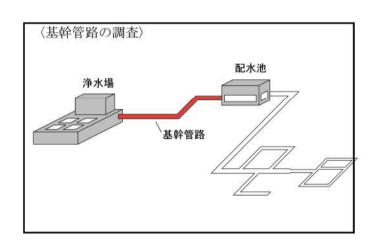
音聴式漏水調査管路延長 4,083km

・相関式漏水探知器を用いた調査(試行)

河川や水路の下などの伏越部の水道管や浄水場と配水池を結ぶ 大口径の基幹管路に対して、相関式漏水探知器(水道管に伝わる 漏水の音波を捉える機器)を用いた調査を試行した。

伏越部 調査箇所249箇所 基幹管路 調査延長65km





〇対策の効果

漏水調査の強化を図った結果、平成28年度の漏水率は減少した。

写真② 音聴式漏水調査

音聴棒による漏水調査



2 電気事業 <主要施策体系図>

1 電力と水道用原水の安定供給	(1) 相模貯水池管理事業
	(2)玄倉第1発電所改造事業
	(3)集中監視制御システム等改修事業
2 貯水池の堆砂対策とダムの機能維持	(1) 相模貯水池大規模建設改良事業
	(2) 道志調整池保全対策事業
3 再生可能エネルギー導入の推進	(1) 太陽光発電所維持事業
	(2) 次世代エネルギーパーク普及・啓発事業
	(3) 早戸川水系水力発電推進事業
4 県民から信頼される事業運営	(1)水源かん養林保育事業
	(2) ダム・発電所地域振興事業

(1) 電力と水道用原水の安定供給

<玄倉第1発電所改造事業>

老朽化した玄倉第1発電所の水車発電機や変圧器などの主要機器を全面更新し、最新技術の採用により出力増強を図る改造工事を進めた。

- 〇事業期間 平成27年度~平成29年度
- 〇平成28年度 事業費総額 214,687千円 (継続費総額 2,241,349千円)

(2) 貯水池の堆砂対策とダムの機能維持

<相模貯水池大規模建設改良事業>

相模貯水池の上流域の災害防止と有効貯水容量の回復を図るため、堆砂の除去等を行った。

- 〇平成28年度のしゅんせつ量 <u>140,960㎡</u>
- 〇有効貯水容量

4, 038万8, 900㎡ → <u>4, 042万3, 700㎡</u>

(平成27年12月末時点) (平成28年12月末時点)

〇有効貯水容量率

83. 8% → <u>83. 9%</u>

(平成27年12月末時点) (平成28年12月末時点)

(参考) 平成31年度 推定值

- · 有効貯水容量 4,000万㎡
- 有効貯水容量率 83.0%

写真③ 相模貯水池大規模建設改良事業

しゅんせつ船団の作業状況(勝瀬橋付近)



しゅんせつ土砂 の陸揚場 (上野原市鶴島)

(3) 再生可能エネルギー導入の推進

<早戸川水系水力発電推進事業>

「かながわスマートエネルギー計画」における基本政策の一つである「再生可能エネルギー等の導入加速化」の取組みを推進するため、相模川水系早戸川において、既存のえん堤を利用した小水力発電所の設置に向けた建設工事や地質調査等に着手した。

〇平成28年度 事業費総額

13,655千円

•早戸川発電所(仮称)建設事業

903千円

(継続費総額 330,000千円 平成28~29年度)

- •蛙沢えん堤地点地質調査業務委託ほか 12,752千円
- 〇発電計画(予定)
 - ア 水系・河川名・位置
 - 一級河川相模川水系早戸川(相模原市緑区鳥屋)

イ えん堤地点と計画内容 下表のとおり

計画地点	早戸川取水えん堤地点 蛙沢砂防えん堤地点 (早戸川(下流部)) (早戸川(上流部))		奥野砂防えん堤地点 (早戸川(中流部))
計画の特徴	廃止された発電所の、残され ている取水えん堤を再利用 する計画	既存の砂防えん堤を取水え ん堤として利用する計画	既存の砂防えん堤を取水え ん堤として利用する計画
最大出力	$72~\mathrm{kW}$	700kW	320kW
年間可能 発電電力量	約484, 200kWh	約4, 009, 000kWh	約1, 636, 000kWh
工期等 (予定) [28年度]	H26~H27 調査設計 H28~H29 建設工事 [H28 調査、建設工事]	H26~H30 調査設計 H31~H34 建設工事 [H 28 地質調査]	H26~H33 調査設計 H34~ 建設工事



写真④ 早戸川発電所(仮称)



3 公営企業資金等運用事業

<主要施策体系図>

 1 資金・資産の効果的な活用
 (1) 他会計への長期貸付金

 2 スマート企業庁(ICT)の推進
 (1) 新財務管理システム開発事業

 (2) 小型飛行ロボット業務活用事業

(1) スマート企業庁(ICT)の推進

<新財務管理システム開発事業>

稼働から25年以上が経過した財務管理システムについて、システム機 能及び業務の見直しを行い、新たな財務管理システムの構築を行った。

- 〇事業期間 平成27年度~平成28年度
- ○平成28年度 事業費総額239,652千円(債務負担総額 853,546千円)

<小型飛行ロボット業務活用事業>

企業庁独自のカスタマイズをした「小型飛行ロボット (ドローン)」を、業務に活用した。

- 〇平成28年度に行った業務内容
 - ・平成28年7月の酒匂川流域の合同パトロールの際に、河川の利用者に対して、上空から水難事故防止の注意喚起を行った。
 - 空撮機能を活用して企業庁の仕事の素晴らしさをアピールする動画の作成などの広報活動を行った。

24

く企業庁カスタマイズ機>



Ⅱ 平成28年度公営企業会計決算額総括表

(単位:百万円)

100000000000000000000000000000000000000	1700 9 5 10		THE LABOR	2500 000	7. 75. 10					THE STATE OF THE S
_	会 計 名		Þ	区	分	収入決算額	支出決算額	当年度	純利益又は	純損失
二	Ē		10		73		人山	資本的	収支財源過	不足額
水	道	事	業	損	益	59,894	51,921		6,770	
会			計	資	本	11,234	28,225	Δ	16,991	
電	気	事	業	損	益	8,342	7,604		651	
会			計	資	本	4,961	1,911		_	
公言	営企業	美資金	等	損	益	812	972	Δ	149	
運	用事	業 会	計	資	本	3,732	7,518	Δ	3,785	
相相	莫川絲	念合開	発	損	益	1,614	1,614		0	
共	同事	業 会	計	資	本	338	338		0	
酒色	匀川絲	念合開	発	損	益	1,179	1,179		0	
事	業	会	計	資	本	271	271		0	
			= ⊥	損	益	71,843	63,292		7,273	
	合		計	資	本	20,538	38,265	Δ	20,776	

26

Ⅲ 各事業会計の決算の状況

水道事業会計

1 決算の概要

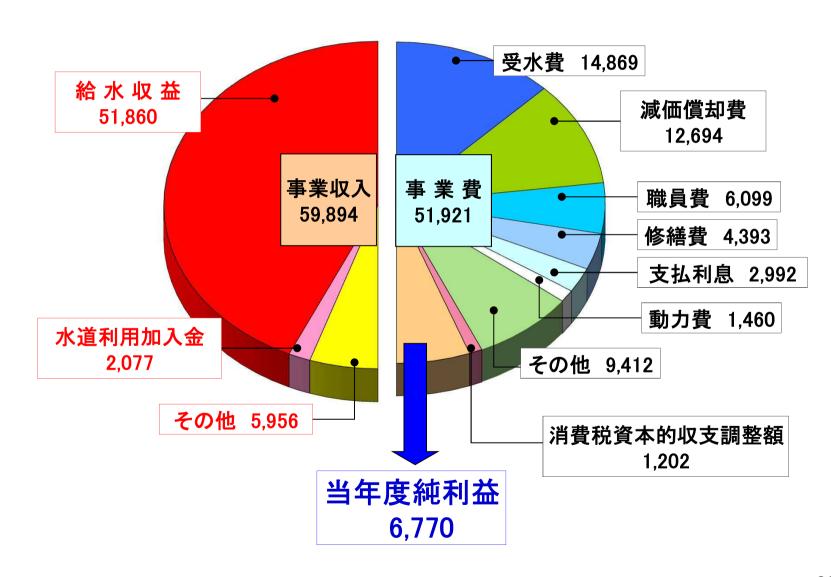
水道事業会計

<収益的収支>

	<u>. r J i</u>	<u> </u>						(単位	:日 万円)
\ 	科 目 等			4	手 度 	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B		咸額 一B
	収 益	的収力	λ		а	59,894	60,138	Δ	243
	営	業		収	益	55,033	55,166	Δ	133
	給	水		収	益	51,860	51,954	Δ	93
	そ	の	他	収	入	3,173	3,212	Δ	39
	営	業	外	収	益	4,808	4,700	N esson	108
	水	道 利	用	加。	入 金	2,077	1,993		84
収	そ	の	他	収	入	2,730	2,706		24
	特	別		利	益	52	271	Δ	219
益	収 益	的支占	Ħ		b	51,921	54,892	Δ	2,970
	営	業		費	用	47,444	49,909	Δ	2,465
的	職		員		費	6,099	6,076		23
	受		水		費	14,869	16,195	Δ	1,325
収	動		力		費	1,460	1,702	Δ	242
	修		繕		費	4,393	5,199	Δ	805
支	減	価	償	却	費	12,694	12,578		115
	そ		他	支	出	7,926	8,156	Δ	230
	営	業	外	費	用	4,477	4,982	Δ	505
	支	払		利	息	2,992	3,293	Δ	300
	そ	の	他	支	出	1,485	1,689	Δ	204
	消費利		的収		整額c	1,202	1,015		187
	当年度		益 又 b -	は 純 c)	損失 d	6,770	4,230		2,539

水道事業会計

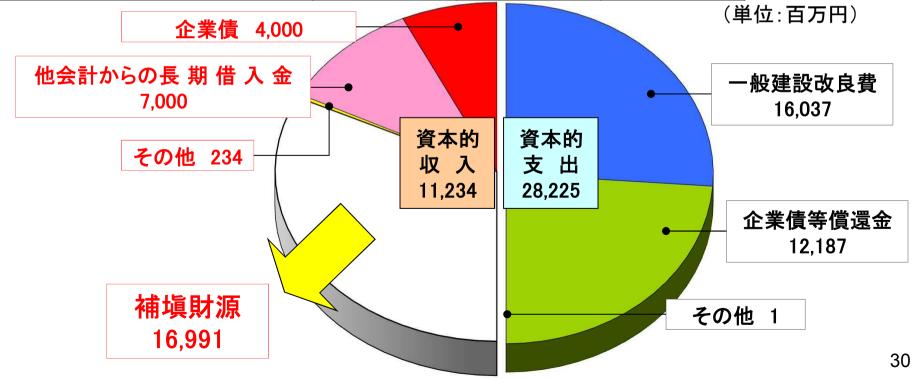
<収益的収支>



く資本的収支>

水道事業会計

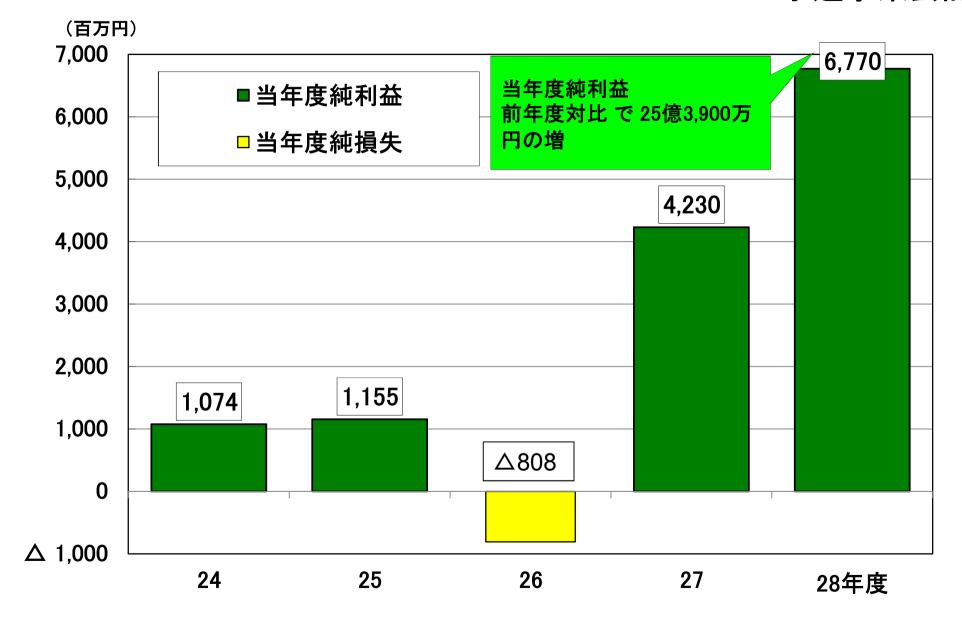
₹	年 度	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	増減額 A-B
, AT	資本的収入 ①	11,234	10,190	1,043
資	企 業 債	4,000	4,000	0
本	他会計からの長期借入金	7,000	6,000	1,000
	その他収入	234	190	43
的	資本的支出 ②	28,225	28,680	△ 455
収	一 般 建 設 改 良 費	16,037	15,012	1,025
4X	企 業 債 等 償 還 金	12,187	13,665	△ 1,477
支	その他支出	1	3	Δ 3
	資 本 的 収 支 差 引 額 (① - ②)③	△ 16,991	△ 18,490	1,498



2 グラフで見る決算書 水道事業会計 (1)損益計算書グラフ 純利益 6,770 (単位:百万円) 特別利益 48 営業外収益 4,650 営業外費用 3,659 支払利息等 営 業収 益 業費用 営 51,111 45,381 水道料金収入の 受水費・減価償却費・職員費等 占める割合が 9割超 収益 費用 31 (55,811)(49,041)

(2)当年度損益の推移

水道事業会計



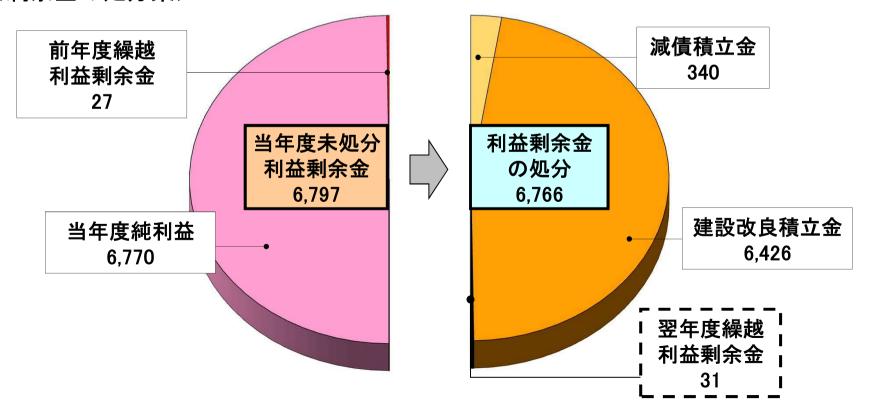
(3) 剰余金の処分

水道事業会計

<当年度未処分利益剰余金の増減> (単位 百万円)

1	前年度繰越利益剰余金	27
2	当年度純利益	6,770
	当年度未処分利益剰余金	6,797

<剰余金の処分案>



(4)水道料金収入

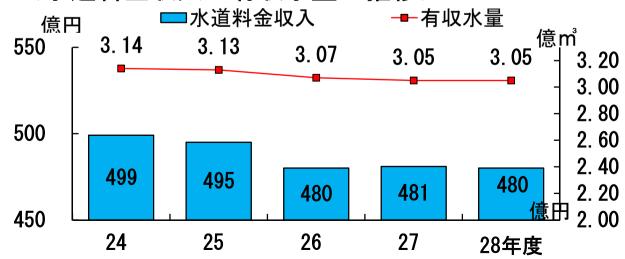
水道事業会計

<水道料金収入(税込み)の前年度比較>

(単位 千円)

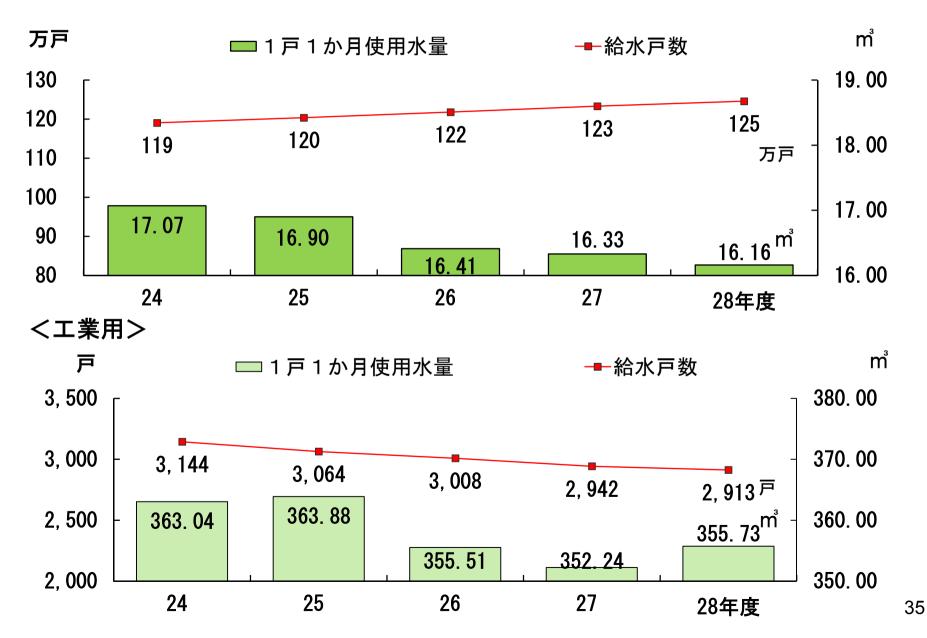
	年度	平成28年度 決 算	構成比	平成27年度 決	構成比	比較増減	前年対比 (A)/(B)
区分		(A)	(%)	(B)	(%)	(A) - (B)	(%)
水	道料金	51,860,441	100.0	51,954,205	100.0	△93,764	99.8
	家 事 用	33,783,327	65.1	33,802,708	65.1	△19,380	99.9
使	業務用	16,846,980	32.5	16,802,807	32.3	44,173	100.3
	営業用	(9,331,302)	(18.0)	(9,193,769)	(17.7)	(137,532)	(101.5)
用用	公 共 用	(2,677,997)	(5.2)	(2,745,524)	(5.3)	$(\triangle 67,526)$	(97.5)
) 11	工業用	(4,837,680)	(9.3)	(4,863,512)	(9.4)	$(\triangle 25,832)$	(99.5)
 	浴場用	40,225	0.1	41,214	0.1	△988	97.6
区	浴場用	(3,947)	(0.0)	(4,174)	(0.0)	$(\triangle 226)$	(94.6)
	プール用	(36,277)	(0.1)	(37,040)	(0.1)	$(\triangle 762)$	(97.9)
分	一時用	242,264	0.5	222,301	0.4	19,962	109.0
	分 水	947,644	1.8	1,085,174	2.1	$\triangle 137,529$	87.3

<水道料金収入と有収水量の推移>



<参考> 家事用・工業用の1戸1か月使用水量と給水戸数の推移

<家事用>



(5)水道料金の免除の状況

水道事業会計

① 免除の概要

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に督促から5年を経過し、かつ債務者の所在不明等により納入見込みのない水道料金及び債務者が死亡し、限定承認の結果、相続財産では弁済を受けられない水道料金について、神奈川県県営上水道条例に基づき免除する。

② 件数及び金額の合計額

14,560件、39,299,572円 (平成27年度15,222件、44,854,609円)

③ 免除の内訳

ア 理由別内訳

- 債務者の死亡 7件 12,072円

- 債務者の所在不明 14,513件 38,215,502円

■債務者の破産 40件 1,071,998円

イ 用途別内訳

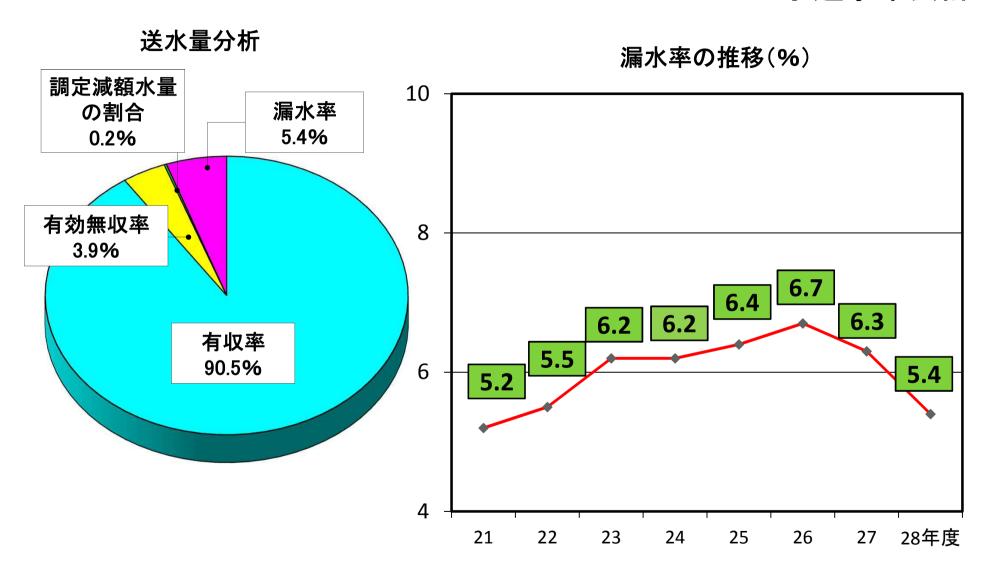
家事用 13,769件 32,703,635円、業務用他 791件 6,595,937円

ウ 金額別内訳

金	額 帯	件数
500,001円以上		0件
100,001円以上	500,000円以下	13件
10,001円以上	100,000円以下	455件
10,000円以下		14,092件
	合計	14,560件

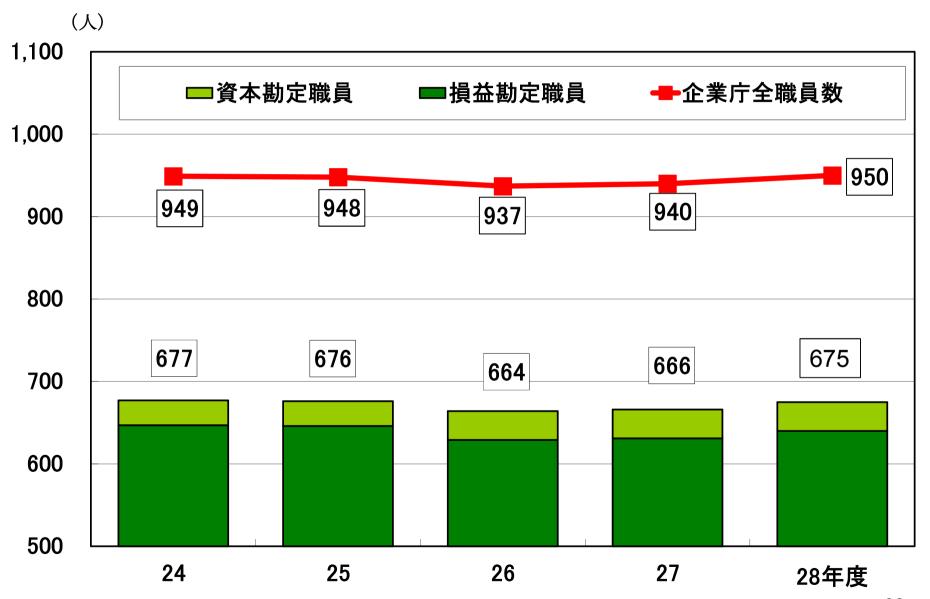
(6)漏水率の推移

水道事業会計



(7)職員数の推移

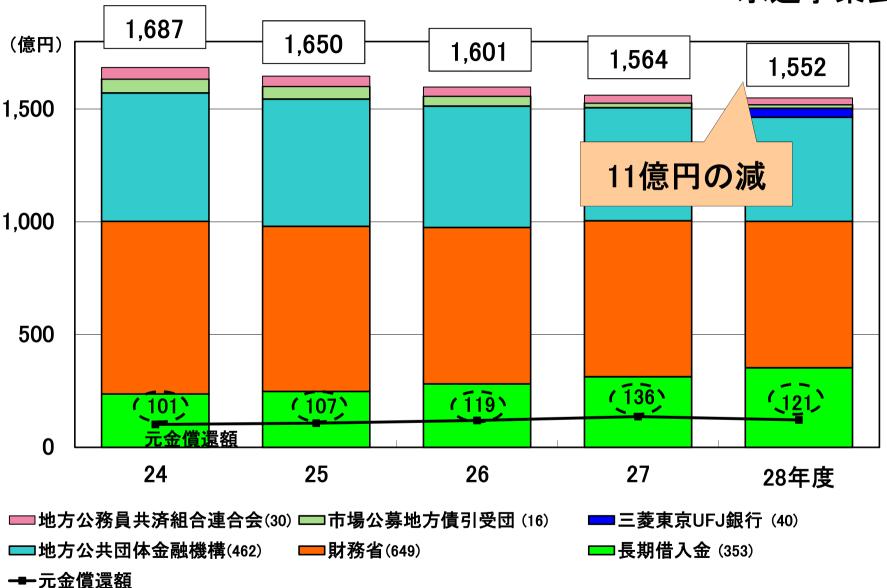
水道事業会計



(8)貸借対照表グラフ 水道事業会計 自己資本構成比率 55.7% (単位:百万円) 繰延勘定 剰余金 59 28,474 資本剰余金 流動資産 投資その他の資産 14.473 35,413 資本金 70,751 利益剰余金 154,936 55.7% 14,000 無形固定資産 **52** 繰延収益 43,649 流動負債 有形固定資産 28,881 300,768 固定負債 151,103 資産の部 負債・資本の部 39 (407,045)(407,045)

(9)企業債・長期借入金残高の推移

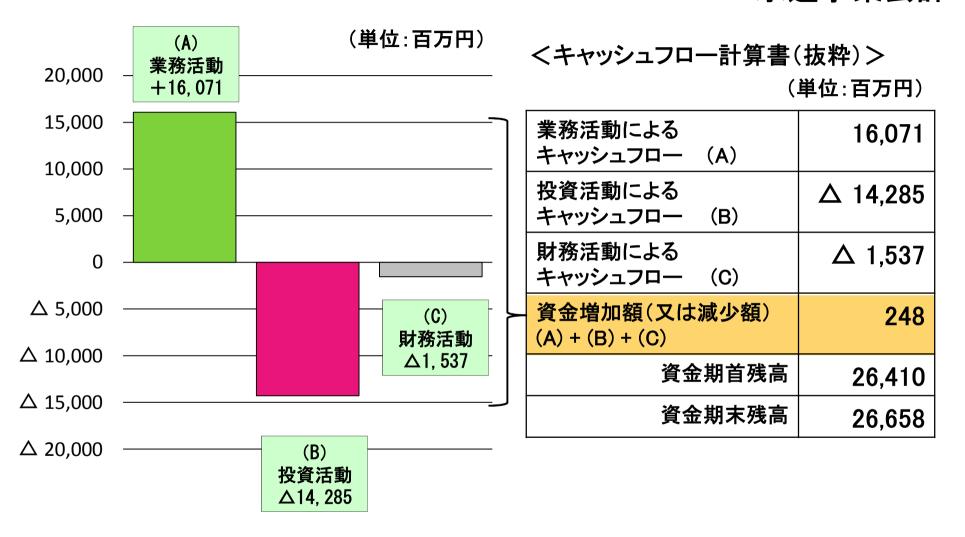
水道事業会計



※()内は、平成28年度末の残高である。

(10)キャッシュフローグラフ

水道事業会計



<参考>神奈川県営水道事業経営計画における財政収支計画との比較

								(単	位:億円)
	年 度	2	26	2	7	2	8	29	30
	科目等	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	計画額
ıl ı,	収益的収入 a	648	633	626	601	618	598	613	609
収	内 水 道 料 金	532	517	530	520	525	518	521	517
益	訳 そ の 他 収 入	116	116	96	82	93	80	92	92
的	収益的支出 b	657	633	589	549	557	519	555	559
収	消費税等資本的収支調整額等 c	10	8	11	10	13	11	12	12
支	当年度純利益又は純損失 (a-b-c)	△19	△8	26	42	48	68	46	38
			1	r	r	 •			
資	資本的収入 ①	72	72	107	102	105	112	95	97
本	資本的支出 ②	255	239	286	287	301	282	293	290
的	内 建 設 改 良 事 業 費 等	136	120	149	150	182	160	170	170
収	武 元 金 償 還 金	119	119	137	137	119	122	123	120
支	資本的収支差引額(① - ②) ③	△183	△167	△179	△185	△196	△170	△198	△193
資	資本的収支財源過不足額の補塡 (減価償却費等内部留保資金)	127	136	154	161	180	194	178	174
金	当年度分資金収支(③+④)⑤	△56	△31	$\triangle 25$	$\triangle 24$	△16	24	$\triangle 20$	△19
収	繰越資金(前年⑥+⑤)⑥	80	141	55	117	39	141	19	0
支	退職給付引当金残高⑦	64	58	64	55	64	56	64	64
	翌年度への繰越資金(⑥+⑦)⑧	144	199	119	172	103	197	83	64

電気事業会計

電気事業会計

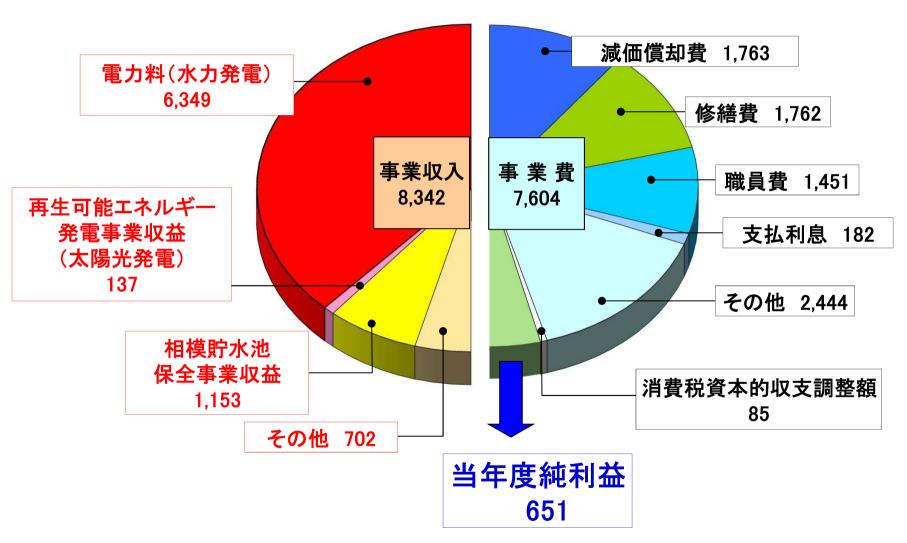
1 決算の概要

<収益的収支>

	(单位,自为门)									
1	年 月 等	度	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	対前年 ^均 A-					
	収益的収入	а	8,342	9,150	Δ	808				
	営業収:	益	8,239	8,207		32				
)	6,349	6,379	Δ	29				
	再生可能エネルギー発電事業収 (太 陽 光 発 電	益)	137	141	Δ	3				
		益	1,153	1,193	Δ	39				
収	その他収。	入	599	494		104				
	財務収益(受取利息)	7	26	Δ	18				
益	事 業 外 収 3	益	95	110	Δ	14				
	特別利 利	益	0	805	Δ	805				
的	収益的支出	b	7,604	7,496		107				
	営 業 費	用	7,046	6,828		218				
収	職員	費	1,451	1,509	Δ	57				
	修繕	費	1,762	1,709		52				
支	減 価 償 却	費	1,763	1,757		5				
	その他支!	出	2,068	1,851		217				
	財務費用(支払利息)	182	210	Δ	27				
	事 業 外 費	用	375	458	Δ	82				
	消費税資本的収支調整	額 c	85	62		23				
	当 年 度 純 利 益 又 は 純 損 st (a-b-c)	失 d	651	1,590	Δ	938				

電気事業会計

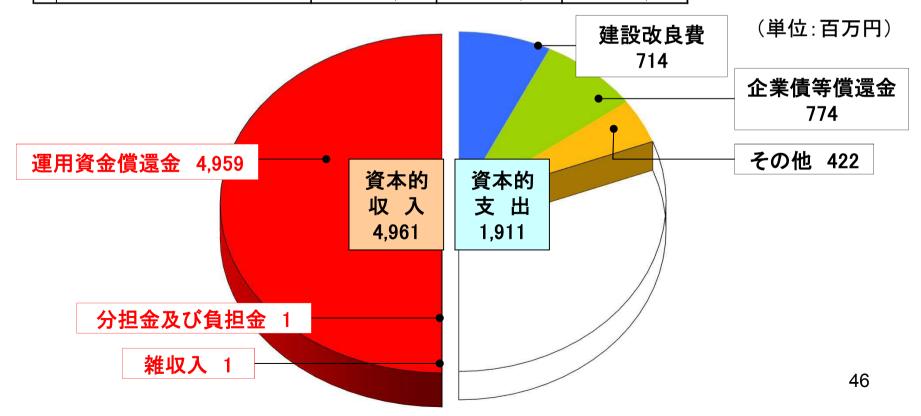
<収益的収支>



く資本的収支>

電気事業会計

					(+ - - - - - - - - - - -
7	年科 目 等	度	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	対前年増減額 A-B
	資本的収入	1	4,961	22	4,938
資	分担金及び負担	旦 金	1	0	1
 本	運用資金價還	金金	4,959	19	4,940
*	雑 収	入	1	3	Δ 3
的	資本的支出	2	1,911	1,739	172
収	建 設 改 良	費	714	901	Δ 186
1	企業債等償還	金金	774	763	10
支	その他支	出	422	73	348
	資本的収支差引額(①-	- ②)③	3,049	Δ 1,716	4,766

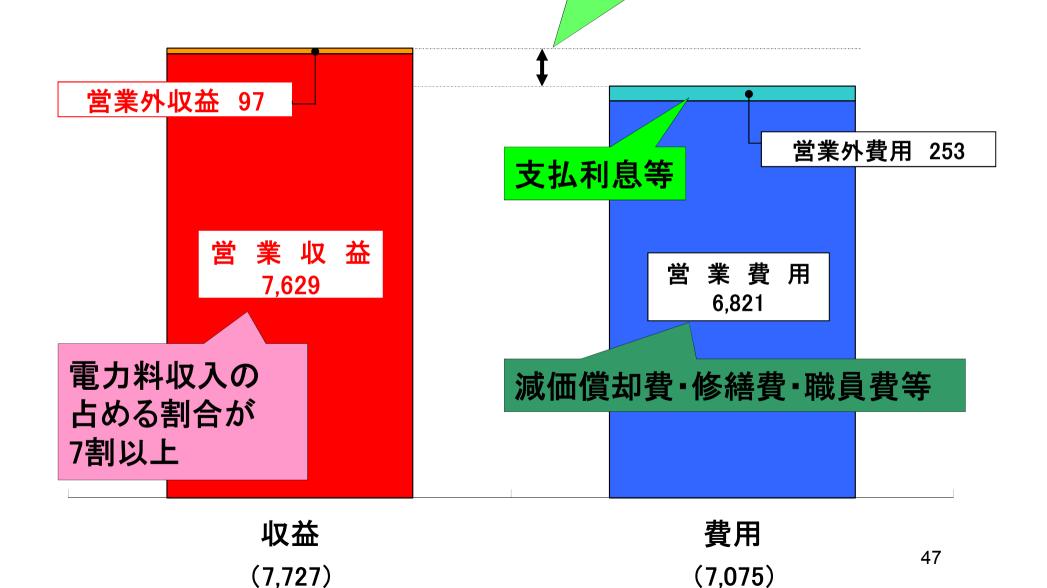


2 グラフで見る決算書

(1)損益計算書グラフ

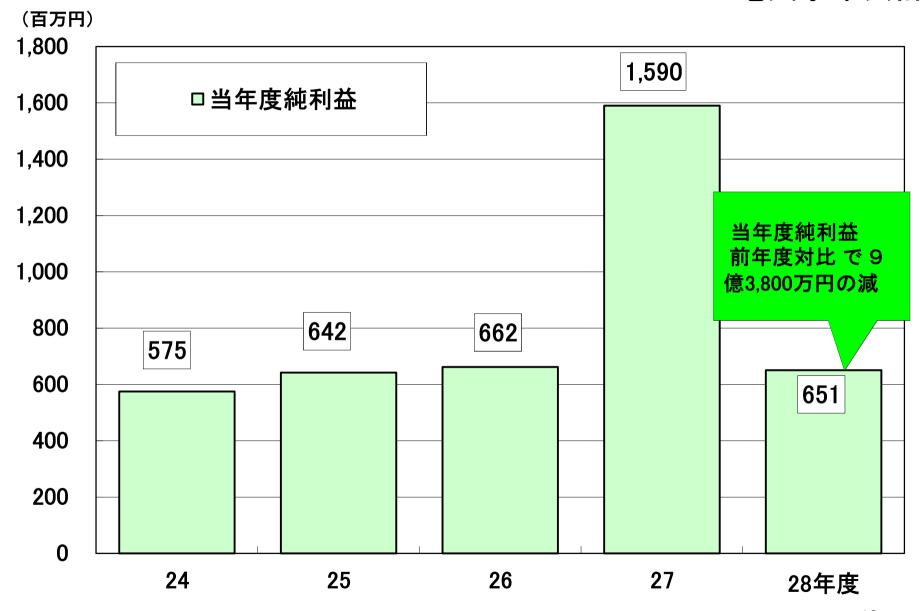
純利益 651

電気事業会計



(2)当年度損益の推移

電気事業会計

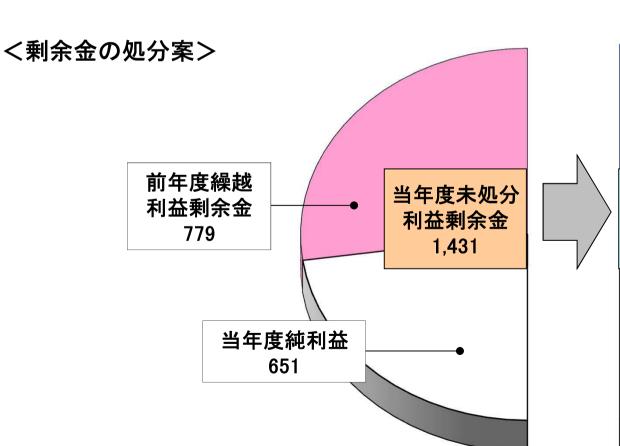


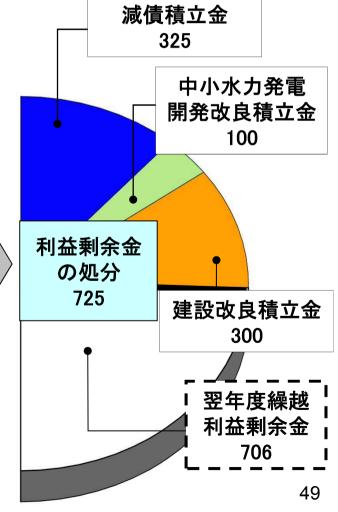
(3)剰余金の処分

電気事業会計

<当年度未処分利益剰余金の増減> (単位:百万円)

1	前年度繰越利益剰余金	779
2	当年度純利益	651
	当年度未処分利益剰余金	1,431





(4)電力料金収入

電気事業会計

ア 水力発電(13発電所)

<電力料金収入(税込み)の前年度比較>

(単位 千円)

年度	平成28年度 決 算	平成27年度 決 算	比較増減	前年対比
発電所	(A)	(B)	(A)—(B)	(A)/(B) (%)
城山以外の発電所	3,311,944	3,405,226	△ 93,282	97.3
城 山 発 電 所	3,037,378	2,974,068	63,310	102.1
合 計	6,349,322	6,379,294	△ 29,972	99.5

く東京電力エナジーパートナー株式会社との電力受給契約の概要>

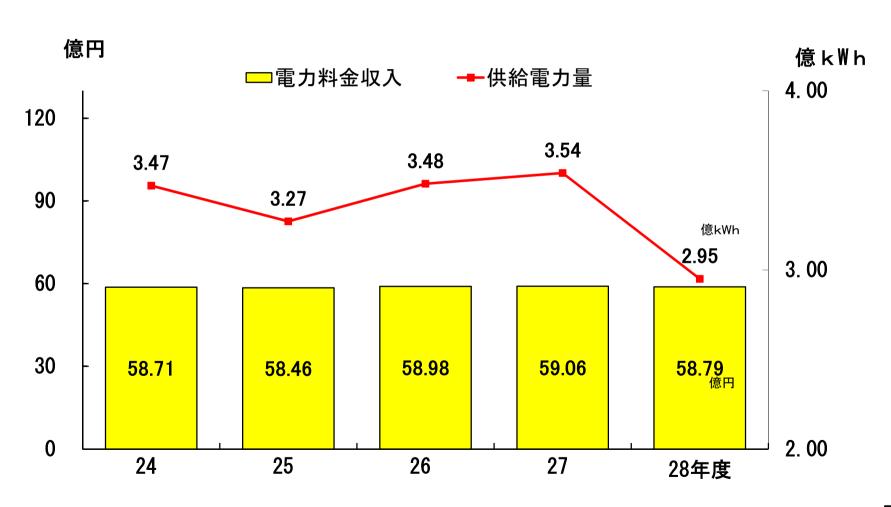
発電所	年度	平成28~29年度	備考
	基本料金(定額)	2,721,383千円	(料金制度)
城山以外の発電所	電力量料金	1kWhにつき1.92円	│基本料金 8割 │電力量料金 2割
	契約期間	28.4.1~30.3.31	
	基本料金(定額)	3,037,378千円	(料金制度)
城 山 発 電 所 	契約期間	28.4.1~30.3.31	│基本料金 10割 │

[※] 基本料金(定額)には消費税等相当額(8%)を含む。

水力発電(13発電所)

電気事業会計

<電力料金収入(税抜き)と供給電力量の推移>



イ 太陽光発電(2発電所)

電気事業会計

<電力料金収入(税込み)の前年度比較>

(単位 千円)

年度	平成28年度 決 算	平成27年度 決 算	比較増減	前年対比
発電所	(A)	(B)	(A)—(B)	(A)/(B) (%)
谷ヶ原太陽光発電所	43,251	48,425	Δ 5,174	89.3
愛 川 太 陽 光 発 電 所	89,745	90,120	Δ 375	99.6
合 計	132,996	138,545	Δ 5,549	96.0

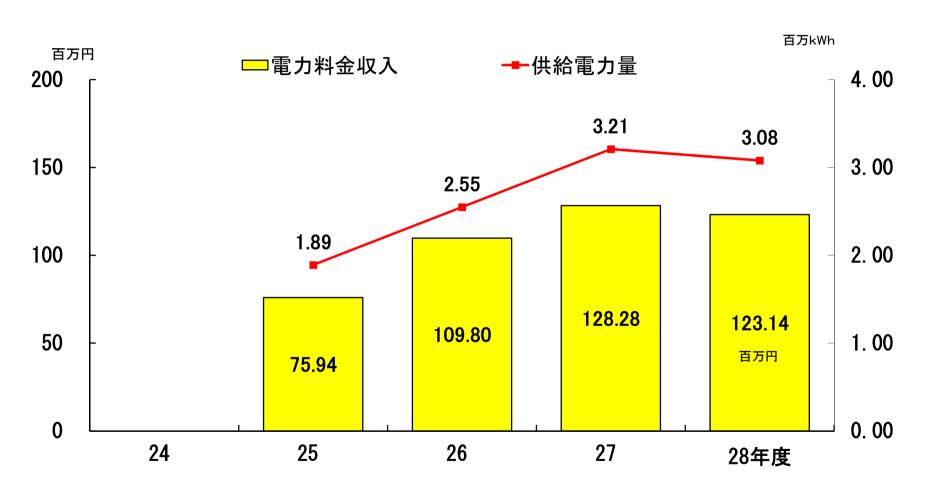
<電力売電契約の概要>

発電所	年度	平成28年度	備考
公人臣士阻业 祭事託	電力量料金	1kWhにつき37.30円(税抜き)	初约生,九红蛇鹿九姓子会社
谷ヶ原太陽光発電所	契約期間	28.4.1~29.3.31	契約先:丸紅新電力株式会社
悉山十四业务专示	電力量料金	1kWhにつき41.30円(税抜き)	初约生,九红蛇霞九姓子会为
愛川太陽光発電所 	契約期間	28.4.1~29.3.31	契約先 : 丸紅新電力株式会社

太陽光発電(2発電所)

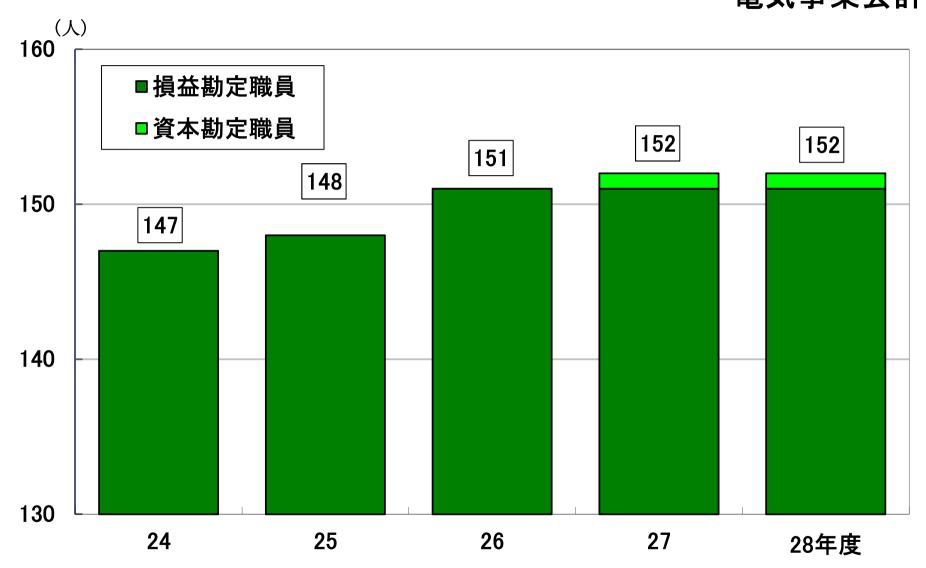
電気事業会計

<電力料金収入(税抜き)と供給電力量の推移>



(5)職員数の推移

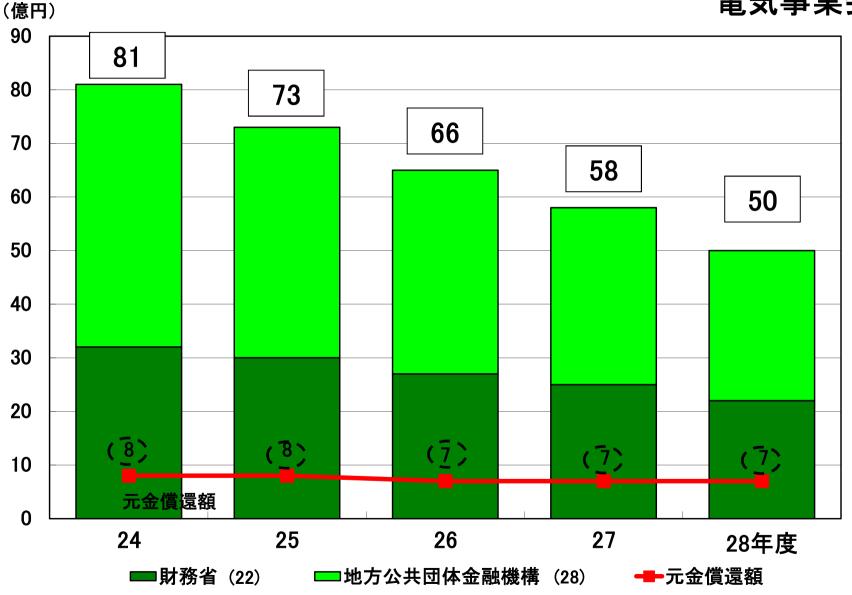
電気事業会計



(6)貸借対照表グラフ 電気事業会計 自己資本構成比率 83.5% (単位:百万円) 剰余金 12,099 流動資産 資本剰余金 29,582 198 利益剰余金 投資その他の資産 11,901 22 資本金 83.5% 37,721 固定資産仮勘定 711 繰延収益 電気事業 174 固定資産 流動負債 29,508 2,987 固定負債 6,842 資産の部 負債・資本の部 55 (59,825)(59,825)

(7)企業債・長期借入金残高の推移

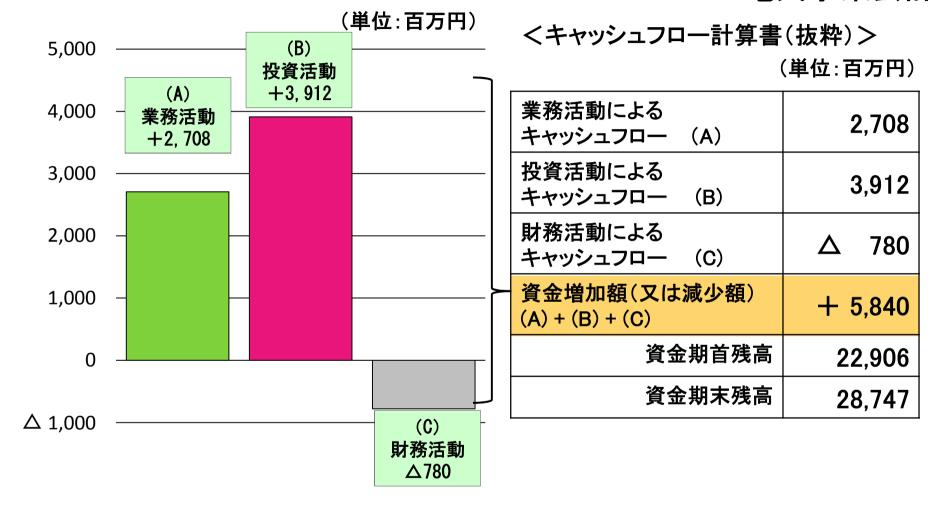
電気事業会計



注()内は、平成28年度末の残高である。

(8) キャッシュフローグラフ

電気事業会計



く参考>神奈川県営電気事業経営計画における財政収支計画との比較

										(単位	立:億円)
	年 度	2	6	2	7		2	8		29	30
	科目等	計画額	決算額	計画額	決算額		計画額	決算額		計画額	計画額
	収益的収入 a	84	90	84	92		83	83		82	82
収	電 力 料 金	61	64	61	64		61	63		61	61
益	内 訳 再生可能エネルギー発電事業収入	1	1	1	1		1	1		1	2
的	その他収入	22	25	21	26		21	19		20	19
収	収益的支出 b	91	83	80	75		77	76		78	78
支	消費税等資本的収支調整額等 c	1	1	2	1		1	1		2	1
	当年度純利益又は純損失d (a-b-c)	△8	7	2	16		4	7		2	3
									i i	,	
資	資本的収入 ①	49	49	0	0		52	50		3	3
本	資本的支出 ②	72	70	28	17		28	19		43	27
的	施設整備費	14	12	21	10		20	11		35	19
	内 元 金 償 還 金	8	8	8	8		8	8		8	8
収	資 産 運 用 費 等	50	50	0	0		0	0		0	0
支	資本的収支差引額(① - ②)③	$\triangle 23$	$\triangle 21$	$\triangle 28$	△17		24	30		$\triangle 40$	$\triangle 24$
	/					ı					
資	資本的収支財源過不足額の補塡 (減価償却費等内部留保資金)	13	26	23	35		24	26		23	23
金	当年度分資金収支(③+④)⑤	△10	6	$\triangle 5$	18		48	57		△17	$\triangle 1$
収	繰越資金(前年⑥+⑤)⑥	152	173	147	190		195	247		177	176
支	退職給付引当金残高⑦	14	14	14	14		14	13		14	14
	翌年度への繰越資金(⑥+⑦)⑧	166	186	161	204		209	260		191	190

公常企業資金等運用事業会計

1 決算の概要

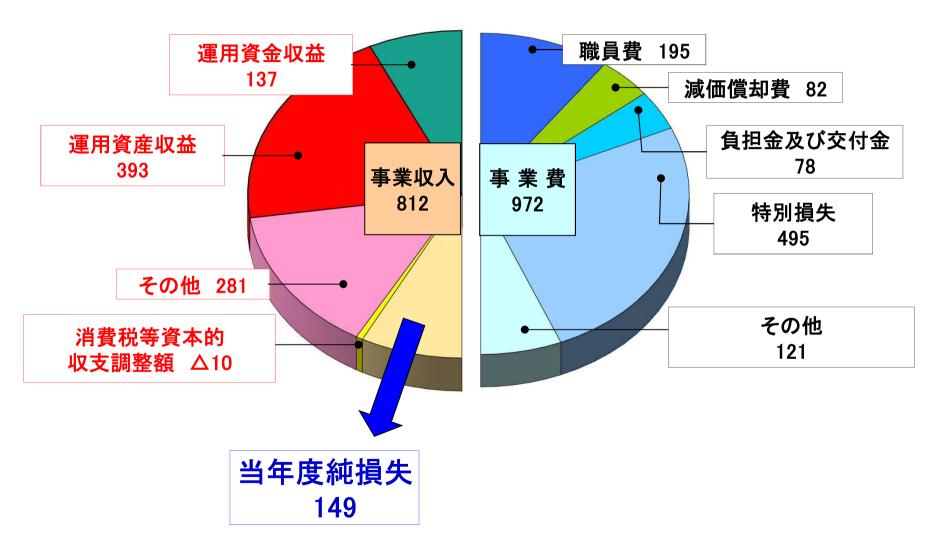
公営企業資金等運用事業会計

<収益的収支>

_										(単位	<u>(白力円)</u>
1	科目:				4	≢ ∫	芰	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	増派 A·	域額 −B
	収 益	的収	入				а	812	830	Δ	17
	営	*	ŧ	Щ	Z	3	益	533	554	Δ	21
	Į.	用用	資	金	43	Q 3	益	137	145	Δ	8
	ű	■ 用	資	産	Ц	Z 3	益	393	406	Δ	12
	₹	· 0	f	也	収	,	λ	2	2		0
	営	業	外	<u> </u>	収	3	益	279	275		3
	特	5	IJ	禾	IJ	3	益	0	0		0
収益	収 益	的支	出				b	972	501		471
紐的	営	į	ŧ	捏	ł	}	Ħ	407	444	Δ	36
収	耶	钱	j	員		i	豐	195	198	Δ	3
支	Í	負担 组	沙 及	び	交	付	金	78	81	Δ	2
	源	域 価	1	賞	却	i	費	82	93	Δ	11
	₹	· 0	<u>+</u>	也	支	ļ	L	51	71	Δ	20
	営	業	外	<u> </u>	費	J	Ħ	70	57		12
	特	另	IJ	損	į	4		495	0		495
	消費	税資る	卜的	収支			類 c	Δ 10	2	Δ	13
	当年		刊 益 - b	又 la - c		損:	t d	Δ 149	326	Δ	476

公営企業資金等運用事業会計

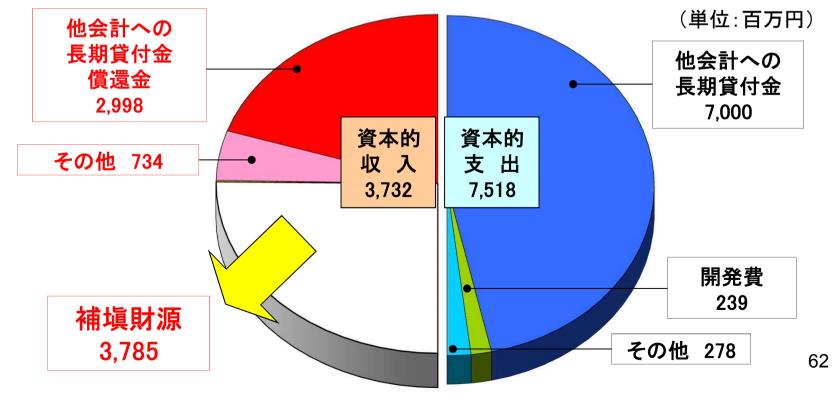
<収益的収支>



く資本的収支>

公営企業資金等運用事業会計

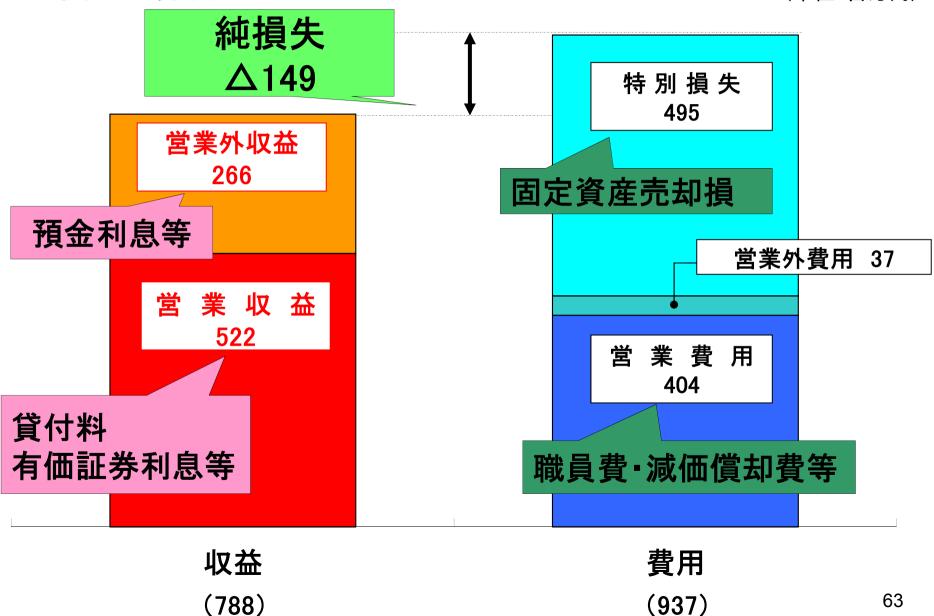
				<u> (半世 日ガロ)</u>
 	年 度 料 目 等	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	増減額 A-B
	資本的収入 ①	3,732	2,922	810
	他会計への長期貸付金償還金	2,998	2,750	247
資	その他収入	734	171	562
本的	資本的支出 ②	7,518	6,262	1,256
収	他会計への長期貸付金	7,000	6,000	1,000
支	開発費	239	142	97
	その他支出	278	119	158
	資本的収支差引額 (①-②)③	△ 3,785	△ 3,339	△ 445



2 グラフで見る決算書

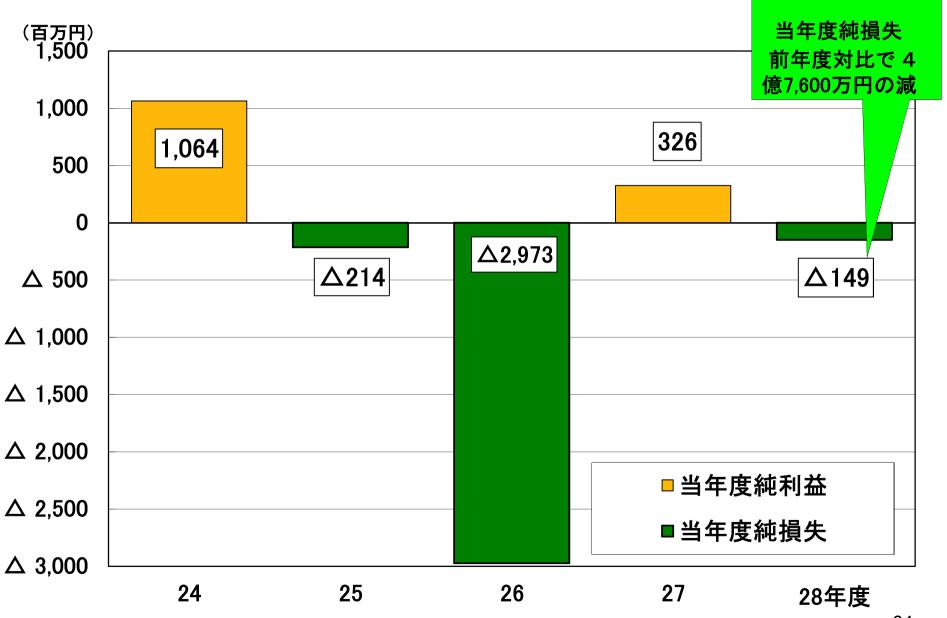
公営企業資金等運用事業会計

(1)損益計算書グラフ



(2)当年度損益の推移

公営企業資金等運用事業会計



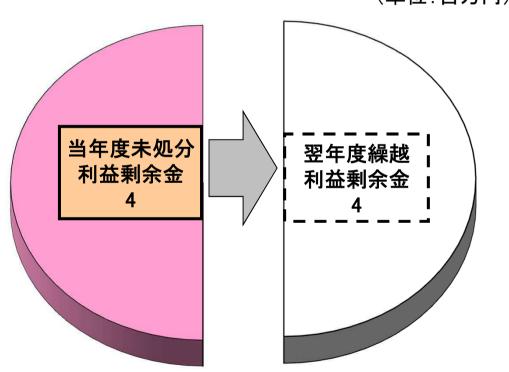
(3)剰余金の処分

公営企業資金等運用事業会計

<当年度未処分利益剰余金の増減>

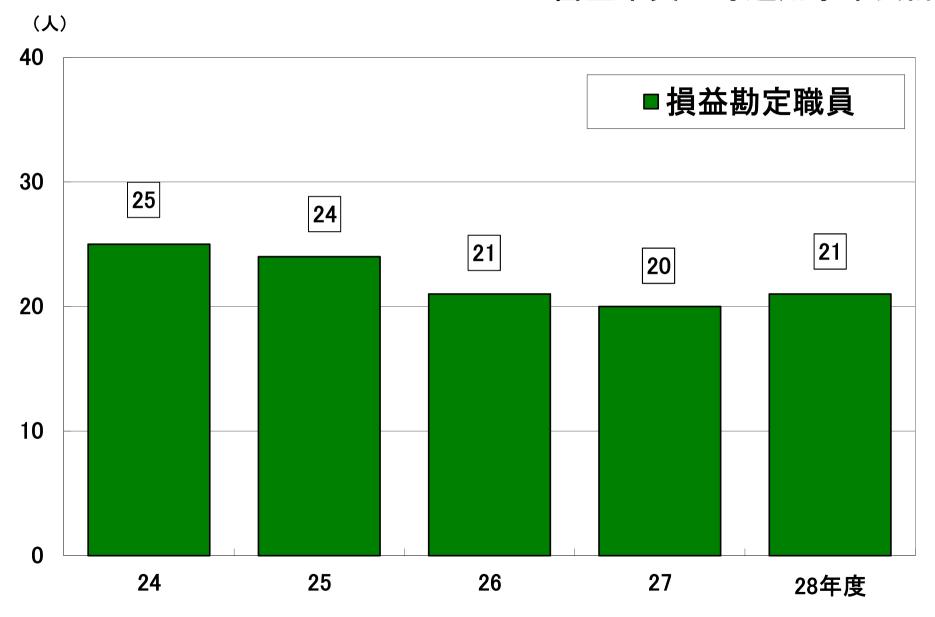
1	前年度繰越利益剰余金	153
2	当年度純損失	△149
	当年度未処分利益剰余金	4

(単位:百万円)



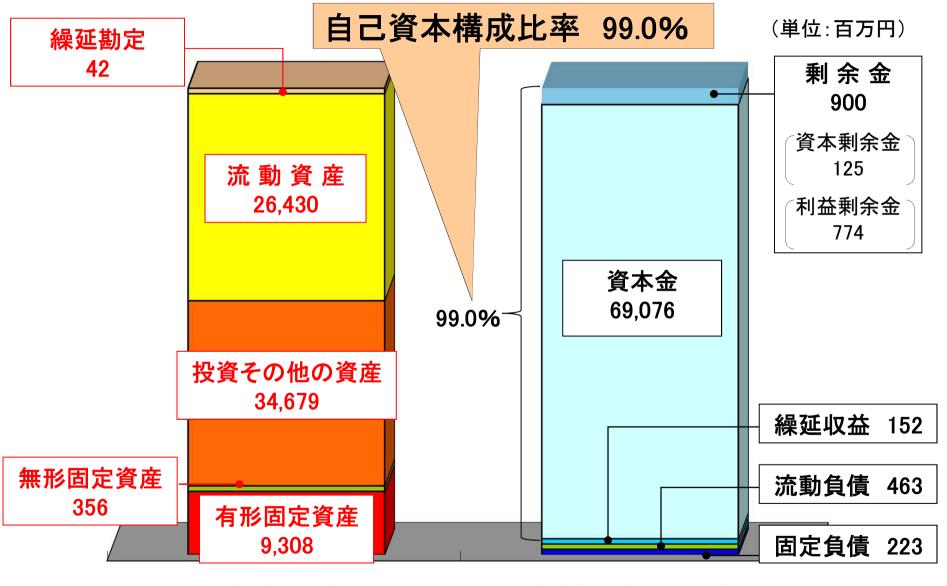
(4)職員数の推移

公営企業資金等運用事業会計



(5)貸借対照表グラフ

公営企業資金等運用事業会計



資産の部 (70,816) 負債・資本の部 (70,816)

(6) 他会計への貸付

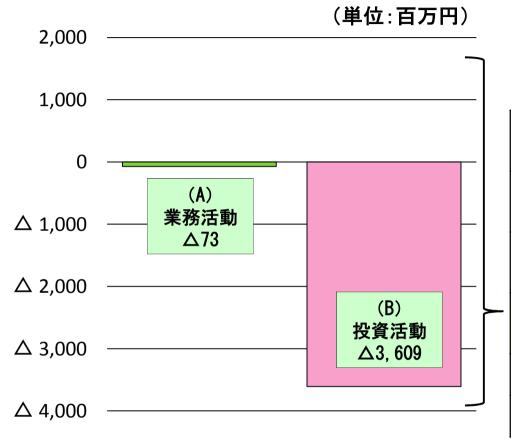
公営企業資金等運用事業会計

(単位 百万円)

区分	平成28年度当初	平成 28 年度		平成28年度末	平成28年度
	貸付残高	貸付額	償 還 額	貸付残高	利 息 収 入
水道事業会計	31,361	7,000	2,997	35,364	135
電気事業会計	3		1	2	1
相 模 原 市	97		8	88	1
計	31,463	7,000	3,007	35,456	137

水道事業会計に70億円の貸付を実施

(7)キャッシュフローグラフ



公営企業資金等運用事業会計

業務活動による キャッシュフロー (A)	△73
投資活動による キャッシュフロー (B)	Δ 3,609
財務活動による キャッシュフロー (C)	0
資金増加額(又は減少額) (A) + (B) + (C)	Δ3,682
資金期首残高	26,031
資金期末残高	22,349

相模川総合開発共同事業会計

酒匂川総合開発事業会計

1 決算の概要

(1)相模川総合開発共同事業会計

(単位:百万円)

科目等			年	度	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	埠	ョ 自減額 A – B	
収益的	収	益	的	収	入	1,614	1,585		28
収支	収	益	的	支	出	1,614	1,585		28
資本的	資	本	的	収	入	338	416	Δ	77
収支	資	本	的	支	出	338	416	Δ	77

(2)酒匂川総合開発事業会計

(単位:百万円)

科目等	等			年	度	平成28年度 決 算 額 A	平成27年度 決 算 額 B	増減額 A-B
収益的	収	益	的	収	入	1,179	1,167	11
収支	収	益	的	支	出	1,179	1,167	11
資本的	資	本	的	収	入	271	204	66
収支	資	本	的	支	圧	271	204	66

ダム施設等の維持管理など経費全額を各事業者からの受託収入で賄っており、 収入と支出が同額であり、当年度損益は生じていない。 71

平成28年度に実施した主な事業(水道)

(単位:千円)

会	計	名	事	 業	名	等	金	額		
			水道施	設耐震化事業				1,873,829		
	水道事業会計		老朽配	水管リフレッシュヨ	事業			4,995,988		
			大口径	老朽管リフレッシ	ュ事業			2,845,935		
الح		> <u>=</u> ⊥	配水管網	網再構築事業				1,897,521		
^		記水池等統廃合事業 お客さま意識調査事業 漏水対策強化事業 箱根地区水道事業包	等統廃合事業				315,991			
					お客さま	意識調査事業				7,736
			漏水対象	策強化事業				122,796		
			箱根地	区水道事業包括	委託事業			932,118		

平成28年度に実施した主な事業 (電気・資金・共同・酒匂)

/ >>/ / /		-	_	1
(HI 177	•	_	щ	-
(単位		G21V7	J	1

会	計 名	事	 業	名	等	金	額
		玄倉第	1発電所改造事	業		214	4,687
		相模貯	水池大規模建訂	设改良事業		1,168	3,796
電気	高事業会計	道志調	整池保全対策等	事業		134	1,644
		太陽光	発電所維持事業	¥		85	5,780
		早戸川	水系水力発電技	推進事業		13	3,655
	合業資金等 目事業会計	新財経	管理システム開	発事業		239	9,652
	莫川総合開発司事業会計	城川貯	水池等保全対策	策事業		45	5,841
酒包事] 川 総 合 開 発 業 会 計	一一保貯	水池等保全対策	策事業		533	3,162

平成28年度神奈川県公営企業会計決算説明資料

~グラフで見る決算~

神奈川県企業庁